

警 防

令和6年度のできごと

令和6年奥能登豪雨災害に緊急消防援助隊として出動

令和6年9月21日に石川県能登地方で発生した豪雨災害に対し、緊急消防援助隊滋賀県大隊として18隊72名が出動し、甚大な被害を受けた輪島市久手川町において、10日間にわたり救助・捜索および救急活動を行いました。

能登地方へは、同年1月1日に発生した令和6年能登半島地震にも緊急消防援助隊として出動しており、震災の爪痕が今なお残る中、他府県の緊急消防援助隊をはじめ、自衛隊、警察など多くの機関と連携しつつ、安否不明者の情報をもとに塚田川およびその河口で活動し、2名の要救助者を救出・搬送しました。

厳しい残暑の中での活動となりましたが、出動した全員が無事に大津市まで帰隊することができました。今回の災害派遣を踏まえ、大規模災害時における応援および受援体制のさらなる強化に努めてまいります。



救助工作車を奥能登広域圏事務組合へ譲与しました

令和6年6月5日に大津市北消防署志賀分署において、奥能登広域圏事務組合消防本部への救助工作車の引き渡し式を実施しました。

令和6年能登半島地震において、奥能登広域圏事務組合消防本部の輪島消防署の救助工作車が被災したことを受けて、総務省消防庁及び同消防本部から大津市消防局に救助工作車の譲与の協力依頼がありました。当消防局は、令和5年度に南消防署の救助工作車が更新され、入れ替えとなった救助工作車を、被災された奥能登広域圏の救助体制の確保に貢献するため、譲与することを決定しました。この救助工作車は、平成15年に南消防署に配備され20年間にわたり大津市民の安心安全を守り続けてきました。今後は、奥能登広域圏事務組合消防本部において、更なる活躍を期待しています。



救急件数増加への対策強化！

令和6年中の救急出動件数は20,830件となり、3年連続で過去最多を更新しました。高齢化の進展をはじめ、夏の猛暑や年末にかけてのインフルエンザ患者急増等が主な原因と考えられます。

こうした現状から、消防局では患者等搬送事業者（民間救急）の認定を進めるなど、不要不急の救急要請への体制づくりや、出動件数の多くを占める高齢者施設への広報など、市民の皆様にも更なる「救急車の適正利用」を呼び掛けています。

また、現場に居合わせた方の応急手当実施率向上を目指し、年間約5千人に対し救命講習を実施、更に複数の医療機関とドクターカー運用について覚書を結ぶなど、現場から高度な医療が開始できる体制を構築しています。



支援車Ⅲ型を新配備

新たに人員搬送車として支援車Ⅲ型を配備しました。

支援車Ⅲ型は最大20人まで乗ることができ、さらに車両後部は約500kgの資器材を積載することができます。災害時には後方支援用として通信業務ができるよう折り畳み机を設置するなど、人員搬送以外にも様々な場面で活躍できる車両となっています。



救助工作車の更新

中消防署の救助工作車を更新し、運用を開始しました。前年度に更新した南消防署と同じ新型のキャビンを採用しており、後席の窓ガラスが大きくなり視認性が向上し、展開ステップによる乗降性も向上しました。さらに室内高が約1.9メートル確保されているため、室内での作業性、資器材の収納スペースなどの機能性も大幅に向上しました。

資器材については、大型油圧救助器具、切断機や鉄線カッター、各種携帯救助用工具にも互換性を持たせたバッテリー式を採用しました。

資器材収納庫も、大型展開扉を採用したり、引き出しや棚を工夫するなど収納力をアップさせました。



出動状況

■ 消防自動車の出動状況

[令和6年中]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数	4	1	7	8	8	7	10	4	6	6	6	8	75
	車両	30	1	62	47	56	40	67	13	35	30	49	37	467
	人員	88	3	193	146	166	114	186	36	99	90	152	111	1,384
救助	件数	20	13	21	24	22	24	29	33	34	29	24	25	298
	車両	91	72	98	112	119	121	142	178	176	131	113	109	1,462
	人員	257	200	277	327	335	328	390	481	491	388	330	310	4,114
警戒	件数	6	3	4	3	1	3	2	9	4	7	5	4	51
	車両	21	14	17	14	4	11	8	40	15	33	22	16	215
	人員	65	45	47	42	11	32	23	112	40	95	67	47	626
偵察	件数	7	1	5	10	10	23	20	17	26	13	22	19	173
	車両	23	3	15	38	36	67	63	51	80	39	67	57	539
	人員	67	10	44	114	101	183	173	138	221	121	199	156	1,527
水防	件数						2	2						4
	車両						4	6						10
	人員						9	12						21
救急支援	件数	122	73	87	94	106	75	89	98	80	100	110	135	1,169
	車両	257	152	190	196	230	161	192	207	168	216	238	286	2,493
	人員	775	449	573	594	684	477	568	609	493	665	708	865	7,460
訓練	件数													-
	車両													-
	人員													-
その他	件数	27	15	22	16	18	19	26	27	23	30	29	26	278
	車両	81	49	89	47	57	66	85	100	55	59	98	66	852
	人員	247	138	264	138	167	191	243	287	161	189	289	198	2,512

■ 消防艇の出動状況

[令和6年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災										1			1
救助	1	2	1		1	3	1	4	5	1			19
警戒													-
警備													-
訓練													-
調査													-
誤報													-
依頼													-
その他													-
合計	1	2	1	-	1	3	1	4	5	2	-	-	20

水利状況

■地区別消防水利の状況

[令和7年4月1日現在]

種別 学区別	消火栓			防火水そう					プール	池等	河川等	その他	琵琶湖基準水位 ±0cm		
	計	150mm以上	150mm未満	計	100t以上	60～100t	40～60t	20～40t					消防車		消防艇
													水利箇所	延長(m)	
北消防署 計	1,825	601	1,224	205	2	10	188	5	37	68	40	21	41	4,479	27,000
小松	246	72	174	16	-	-	16	-	6	8	-	5	7	1,140	8,000
木戸	216	60	156	27	-	1	25	1	5	5	1	11	4	630	5,000
和邇	237	25	212	26	-	-	26	-	4	20	3	3	6	1,360	7,500
小野	61	24	37	7	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
葛川	95	23	72	11	-	1	9	1	1	-	14	-	-	-	-
伊香立	182	33	149	35	1	2	31	1	6	5	7	1	-	-	-
真野北	66	38	28	14	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-
真野	173	83	90	10	-	2	8	-	2	6	10	-	3	260	800
堅田	314	131	183	15	1	1	11	2	5	22	5	1	21	1,089	5,700
仰木	78	22	56	17	-	1	16	-	1	2	-	-	-	-	-
仰木の里	76	47	29	11	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	-
仰木の里東	81	43	38	16	-	2	14	-	1	-	-	-	-	-	-
中消防署 計	2,066	931	1,135	104	7	16	80	1	39	33	27	34	26	5,324	18,200
雄琴	172	77	95	16	-	1	14	1	2	5	2	-	4	578	5,800
日吉台	55	26	29	17	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-
坂本	272	97	175	7	1	1	5	-	3	1	8	6	-	-	-
下阪本	209	65	144	6	-	1	5	-	3	6	4	1	6	316	4,000
唐崎	287	122	165	10	1	3	6	-	4	2	-	1	2	300	2,600
滋賀	273	102	171	10	2	1	7	-	4	3	-	5	2	540	1,200
山中比叡平	63	33	30	5	-	1	4	-	3	-	1	1	-	-	-
長等	153	105	48	6	-	3	3	-	6	7	3	3	4	760	1,800
藤尾	101	40	61	8	-	3	5	-	2	-	3	-	-	-	-
逢坂	141	72	69	6	1	-	5	-	2	-	-	1	-	-	-
中央	101	67	34	2	1	1	-	-	2	3	1	10	3	1,000	1,100
平野	239	125	114	11	1	1	9	-	7	6	5	6	5	1,830	1,700
南消防署 計	1,161	516	645	79	3	9	67	-	20	34	82	7	8	1,500	5,300
膳所	237	124	113	9	2	1	6	-	3	8	5	-	7	1,500	2,800
富士見	131	44	87	12	-	1	11	-	2	6	2	2	-	-	-
晴嵐	273	125	148	10	1	1	8	-	5	8	29	3	1	-	2,500
石山	178	75	103	8	-	1	7	-	4	5	6	2	-	-	-
南郷	189	94	95	20	-	4	16	-	4	4	12	-	-	-	-
大石	153	54	99	20	-	1	19	-	2	3	28	-	-	-	-
東消防署 計	1,297	515	782	163	2	14	144	3	22	79	35	6	1	400	400
瀬田	201	60	141	25	-	3	21	1	4	11	1	1	-	-	-
瀬田北	223	78	145	14	1	1	12	-	3	1	6	1	-	-	-
瀬田南	241	89	152	23	1	2	20	-	4	11	7	1	1	400	400
瀬田東	222	104	118	32	-	3	27	2	3	13	2	3	-	-	-
田上	223	95	128	23	-	3	20	-	3	12	6	-	-	-	-
上田上	86	33	53	11	-	2	9	-	3	20	9	-	-	-	-
青山	101	56	45	35	-	-	35	-	2	11	4	-	-	-	-
総合計	6,349	2,563	3,786	551	14	49	479	9	118	214	184	68	76	11,703	50,900

■消防局事業による耐震性貯水槽の設置状況

消防水利は大規模な震災を想定し、消火栓に偏ることなく地域の実情に応じて耐震性を有する消防水利を配置することと国からの告示により定められており、当消防局でも調査及び設計、並びに設置に向けての事業を行っています。

[令和7年4月1日現在]

	40m ³	60m ³	100m ³	計
平成24年度	-	-	-	0
平成25年度	3	1	-	4
平成26年度	-	-	-	0
平成27年度	4	-	-	4
平成28年度	-	1	-	1
平成29年度	-	-	-	0
平成30年度	-	-	-	0
令和元年度	1	-	-	1
令和2年度	-	-	-	0
令和3年度	1	-	-	1
令和4年度	1	-	-	1
令和5年度	-	-	-	0
令和6年度	1	-	-	1
合計	11	2	0	13

■開発行為による消防水利の設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「大津市開発許可制度に関する基準」及び「大津市消防水利等設置基準」に基づき、消防水利の指導を行っています。

[令和7年4月1日現在]

	消火栓	防火水槽
平成24年度	20	5
平成25年度	10	2
平成26年度	8	4
平成27年度	13	8
平成28年度	14	3
平成29年度	11	9
平成30年度	19	2
令和元年度	19	3
令和2年度	20	10
令和3年度	14	9
令和4年度	13	0
令和5年度	22	2
令和6年度	14	0
合計	197	57

令和6年 救助概況

■ 事故種別出動件数・救助人員

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
出動件数(件)	397	49	58	20	44	-	2	123	1	-	100
救助人員(人)	176	2	28	13	35	-	-	77	1	-	25

■ 過去5年間 出動件数の推移

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
令和2年	290	53	33	27	33	-	1	85	-	-	58
令和3年	350	57	43	22	34	2	2	103	-	-	87
令和4年	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72
令和5年	383	62	46	20	28	-	4	128	-	-	95
令和6年	397	49	58	20	44	-	2	123	1	-	100

■ 大津市の水難事故、山岳事故の傾向について

水難事故 計20件	転落	遊泳中	レジャー	自損	不明	その他
	1	-	6	2	10	1

救助人員	市内	市外	不明
	1	3	10

山岳事故 計44件	道迷い	転倒	滑落	急病	蜂刺され	その他
	11	6	9	9	-	9

救助人員	市内	市外	不明
	7	27	1

■ 署所別発生件数

署所	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
北消防署	57	5	10	10	8	-	-	9	-	-	15
北消防署志賀分署	50	6	11	6	13	-	-	6	-	-	8
中消防署	84	10	10	-	2	-	-	37	1	-	24
中消防署西分署	62	7	11	-	7	-	-	25	-	-	12
南消防署	55	12	3	2	2	-	2	18	-	-	16
南消防署南郷出張所	18	2	3	1	-	-	-	5	-	-	7
東消防署	66	4	9	1	11	-	-	23	-	-	18
名神高速道路等	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の地域	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
合計	397	49	58	20	44	-	2	123	1	-	100

消防車両等配置別性能状況

[令和7年4月1日現在]

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等	
消防局	局指令1	トヨタ	H20		乗用(3,000cc)	
	局指揮1	トヨタ	H10		乗用(3,000cc)	
	局指揮2	トヨタ	H24		指揮車4WD	
	局広報1	日産	H21		ライトバン	
	局装備1	ダイハツ	H28		軽バン4WD	
	局査察1	スズキ	H24		軽バン4WD	
	局連絡1	トヨタ	R5		ステーションワゴン(8名)	
	局支援1	いすゞ	H25		支援車I型	
	局支援2	トヨタ	R7		支援車III型マイクロバス(20名)	
	楽器搬送車	三菱	H10		フラットバン(2.0t積)	
北消防署						
本署	北はしご1	三菱	H15	A-2	はしご車30m級	
	北救助1	日野	R4		救助工作車III型4WD	
	北タンク1	日野	H20	A-2	タンク車(2,000L)4WD	
	北ポンプ1	日野	H17	A-2	ポンプ車4WD	
	北指揮1	トヨタ	H28		指揮車4WD	
	北救急1	トヨタ	R3		高規格救急車4WD	
	北資材1	いすゞ	H27		トラック(2.0t積)	
	北水害対策1	いすゞ	H31		津波・大規模風水害対策車	
	北広報1	トヨタ	H16		ライトバン4WD	
	北査察1	スズキ	H15		軽バン4WD	
	北警防1	ヤマハ	H17		バイク50cc	
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式	
	小型動力ポンプ	シバウラ		B-2	可搬式	
	救助艇	アキレス	R4		9.9PS(トーハツ)	
	救助艇	アキレス	H31		20.0PS(トーハツ)	
	救助艇(高機能)	MST	R2		30.0PS(トーハツ)	
	小型特殊車両	Argo	H31		8輪バギー	
	志賀分署	志賀タンク1	日野	H25	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
		志賀救急1	トヨタ	R6		高規格救急車4WD
志賀積載1		ダイハツ	R6	B-2	小型ポンプ積載デッキバン4WD	
志賀資材1		いすゞ	H15		トラック(2.0t積)	
志賀広報1		日産	H17		ライトバン4WD	
志賀警防1		ホンダ	H15		バイク50cc	
小型動力ポンプ		トーハツ	H9	B-2	可搬式	
中消防署						
本署	中はしご1	日野	H28		35m級先端屈折水路管付	
	中救助1	日野	R7		救助工作車III型4WD	
	中タンク1	日野	H23	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD	
	中ポンプ1	日野	R5	A-2	CAFS付ポンプ車(600L)4WD	
	中指揮1	トヨタ	H24		指揮車4WD	
	中救急1	日産	R7		高規格救急車4WD	
	中資材1	トヨタ	R7		トラック(2.0t積)	
	中広報1	トヨタ	H15		ライトバン	
	中査察1	ダイハツ	H28		軽バン	

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
	中警防1 小型動力ポンプ 救助艇	ホンダ シバウラ アキレス	H 4 R 7 R 5	B-2	バイク50cc 可搬式 9.9PS(トーハツ)
西分署	西ポンプ1 西救急1 西救急2 西資材1 西連絡1 西警防1 小型動力ポンプ	トヨタ トヨタ 日産 トヨタ ダイハツ ヤマハ トーハツ	H22 R 4 H30 R 6 H27 H 2 R 5	A-2 B-2	高圧噴霧付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式
水上出張所	消防艇(おおつ) 搭載艇 水上連絡1 水上警防1	19GT型消防艇 アキレス 日産 ホンダ	H27 H23 H29 H 6	8000L	小型船舶、ウォータージェット推進器 15PS(ヤマハ) 軽バン バイク50cc
南消防署					
本署	南はしご1 南化学1 南救助1 南ポンプ1 南指揮1 南救急1 南救急2 南資材1 南広報1 南査察1 南警防1 小型動力ポンプ 救助艇	三菱 日野 日野 日野 トヨタ トヨタ トヨタ 三菱 トヨタ ダイハツ ヤマハ トーハツ アキレス	H12 R 3 R 6 H25 H25 R 4 R 3 H11 R 6 H25 H16 H27	A-2 A-2 A-2 B-3	24m級 化学車Ⅱ型CAFS付4WD 救助工作車Ⅱ型4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 指揮車4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式 9.9PS(トーハツ)
南郷出張所	南郷ポンプ1 南郷救急1 南郷広報1 南郷警防1 小型動力ポンプ	日野 トヨタ トヨタ ヤマハ トーハツ	R 5 R 2 H18 H 5	A-2 B-3	CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD ライトバン バイク50cc 可搬式
東消防署					
本署	東はしご1 東タンク1 東ポンプ1 東救急1 東資材1 東広報1 東査察1 東連絡1 東警防1 小型動力ポンプ	日野 日野 日野 トヨタ 日野 三菱 日産 マツダ ヤマハ シバウラ	R 5 H24 R 4 R 5 R 6 H28 R 4 H 8 H 3 R 4	A-2 A-2 A-2 B-2	30m級先端屈折水路管付 CAFS付タンク車(2,000L)4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン ライトバン バイク50cc 可搬式
青山救急出張所	東救急2	トヨタ	R 2		高規格救急車4WD

車両種別一覧

消防ポンプ自動車 6台	水槽付消防ポンプ自動車 4台	救助工作車 3台
		
【中ポンプ1】	【志賀タンク1】	【中救助1】
高規格救急自動車 10台	はしご付消防ポンプ自動車 4台	化学消防ポンプ自動車 1台
		
【中救急1】	【東はしご1】	【南化学1】
指揮車 4台	消防艇 1艘	広報車 7台
		
【北指揮1】	【消防艇おおつ(愛称:湖都風)】	【南広報1】
資機材搬送車 7台	支援車 2台	他の車両・バイク 22台
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型動力ポンプ積載車 1台 ・ 小型特殊車両 1台 ・ 査察車 5台 ・ 連絡車 3台 ・ 楽器搬送車 1台 ・ バイク 8台 ・ 人員搬送車等 3台
【北水害対策1】	【局支援1】	

令和6年 救急概況

救急出動の状況

■出動件数

令和6年中における救急出動件数は、20,830件で、前年の20,795件と比較して35件増加しました。また、1日あたりの平均出動件数は56.9件で、これは1時間に2.4件出動したことになります。

■搬送人員

傷病者搬送人員は18,688人で、前年の18,682人と比較して6人増加しました。

これは、市民の18.4人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

■活動時間

覚知(119番入電)から救急車が現場に到着するまでの平均所要時間は、9分40秒で、前年の9分47秒から7秒短縮しました。

また、覚知から救急車が病院に到着するまでの平均所要時間は、34分04秒で、前年の34分43秒から39秒短縮しました。

令和6年救急概況表[前年比較]

区分	出動件数(件)			搬送件数(件)			搬送人員(人)		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
合計	20,830	20,795	35	18,567	18,587	△ 20	18,688	18,682	6
火災	54	62	△ 8	10	13	△ 3	9	13	△ 4
自然災害	2	1	1	2	1	1	2	1	1
水難事故	21	28	△ 7	2	8	△ 6	2	8	△ 6
交通事故	1,155	1,057	98	968	891	77	1,049	944	105
労働災害	158	146	12	154	139	15	155	141	14
運動競技	144	147	△ 3	142	138	4	143	140	3
一般負傷	3,386	3,375	11	3,070	3,132	△ 62	3,083	3,146	△ 63
加害	48	54	△ 6	31	38	△ 7	31	41	△ 10
自損行為	125	179	△ 54	91	119	△ 28	91	119	△ 28
急病	14,196	14,284	△ 88	12,855	12,955	△ 100	12,880	12,976	△ 96
その他	1,541	1,462	79	1,242	1,153	89	1,243	1,153	90

過去5年間 出動件数及び現場到着と医療機関到着平均所要時間の推移

	出動件数	搬送件数	搬送人員	1日あたりの 出動件数	覚知から 現場到着までの 平均所要時間	覚知から 医療機関までの 平均所要時間
令和2年	15,808 件	14,231 件	14,315 人	43.2 件	8分53秒	33分31秒
令和3年	16,531 件	14,841 件	14,922 人	45.3 件	9分13秒	34分26秒
令和4年	19,348 件	17,346 件	17,435 人	53.0 件	9分43秒	36分02秒
令和5年	20,795 件	18,587 件	18,682 人	57.0 件	9分47秒	34分43秒
令和6年	20,830 件	18,567 件	18,688 人	56.9 件	9分40秒	34分04秒

■事故種別[傷病程度別]搬送状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	割合
火 災	- 人	2 人	5 人	2 人	- 人	9 人	0.05%
自然災害	- 人	- 人	2 人	- 人	- 人	2 人	0.01%
水難事故	- 人	1 人	- 人	1 人	- 人	2 人	0.01%
交通事故	1 人	21 人	114 人	913 人	- 人	1,049 人	5.61%
労働災害	- 人	4 人	40 人	111 人	- 人	155 人	0.83%
運動競技	- 人	1 人	11 人	131 人	- 人	143 人	0.77%
一般負傷	8 人	77 人	742 人	2,255 人	1 人	3,083 人	16.50%
加 害	- 人	1 人	1 人	29 人	- 人	31 人	0.17%
自損行為	2 人	7 人	33 人	49 人	- 人	91 人	0.49%
急 病	80 人	304 人	4,480 人	8,016 人	- 人	12,880 人	68.92%
その他	- 人	30 人	1,096 人	117 人	- 人	1,243 人	6.65%
合 計	91 人	448 人	6,524 人	11,624 人	1 人	18,688 人	100.0%
割 合	0.49%	2.40%	34.91%	62.20%	0.01%	100.0%	

死亡とは、救急隊が病院を引き揚げるまでに医師によって死亡と判断されたものをいう。
 事故種別「その他」とは、転院搬送等をいう。
 傷病程度「その他」とは、医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものをいう。

■事故種別[年齢区分別]搬送状況

事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合
火 災	- 人	- 人	- 人	2 人	7 人	9 人	0.05%
自然災害	- 人	- 人	- 人	2 人	- 人	2 人	0.01%
水難事故	- 人	- 人	- 人	2 人	- 人	2 人	0.01%
交通事故	- 人	31 人	97 人	630 人	291 人	1,049 人	5.61%
労働災害	- 人	- 人	- 人	117 人	38 人	155 人	0.83%
運動競技	- 人	2 人	91 人	49 人	1 人	143 人	0.77%
一般負傷	- 人	175 人	154 人	465 人	2,289 人	3,083 人	16.50%
加 害	- 人	- 人	4 人	20 人	7 人	31 人	0.17%
自損行為	- 人	- 人	11 人	68 人	12 人	91 人	0.49%
急 病	7 人	536 人	312 人	3,157 人	8,868 人	12,880 人	68.92%
その他	28 人	21 人	15 人	311 人	868 人	1,243 人	6.65%
合 計	35 人	765 人	684 人	4,823 人	12,381 人	18,688 人	100.0%
割 合	0.19%	4.09%	3.66%	25.81%	66.25%	100.0%	

- ・ 新生児 生後28日未満
- ・ 乳幼児 生後28日以上 満7歳未満
- ・ 少 年 満7歳以上 満18歳未満
- ・ 成 人 満18歳以上 満65歳未満
- ・ 高齢者 満65歳以上

■救命率の推移

	搬送人員	心停止傷病者数	救命人員	救命率	救命手当施行率
令和2年	14,315人	282(58)人	24(7)人	8.5(12.1)%	53.2(51.7)%
令和3年	14,922人	305(61)人	28(16)人	9.2(26.2)%	58.7(49.2)%
令和4年	17,435人	332(62)人	21(8)人	6.3(12.9)%	49.8(45.2)%
令和5年	18,682人	331(58)人	25(11)人	7.6(19.0)%	52.3(50.0)%
令和6年	18,688人	316(49)人	24(6)人	7.6(12.2)%	45.6(51.0)%

救命人員とは、1か月以上生存している人を指し、生存退院者や社会復帰者も含まれます。
救命手当施行率とは、心肺停止事故を目撃または発見した市民が、心肺蘇生法等の救命手当を実施していた率です。
()内は、心停止の原因が心原性で、かつ目撃があった傷病者を対象とした場合の値です。

■高度救命処置実施状況

救急救命士が実施した救急救命処置は、次のとおりです。

	心肺停止傷病者数 ※呼吸停止のみを含む	気道確保 (LT等)	気管挿管	除細動	静脈路 確保	アドレナリン 投与	CPA前 輸液	ブドウ糖 投与
令和2年	295人	141件	54件	32件	139件	127件	67件	24件
令和3年	317人	207件	39件	33件	164件	136件	77件	33件
令和4年	348人	226件	38件	26件	191件	178件	94件	44件
令和5年	347人	189件	62件	35件	190件	186件	91件	46件
令和6年	317人	153件	64件	26件	188件	171件	94件	36件

平成26年4月1日から救急救命士法施行規則の一部が改正され、心肺停止前の傷病者に対し、静脈路確保及び輸液、さらに血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与が可能となり、10月1日から運用開始しました。
CPA前輸液の件数には、ブドウ糖溶液投与にかかる静脈路確保実施件数を含みます。

■救急隊員の資格

[令和7年3月31日現在]

資格種別	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程	合計
人数	88人	187人	25人	3人	303人

※上記は再任用職員を除いた人数

[令和7年3月31日現在]

認定等種別	気管挿管認定 薬剤投与認定	薬剤投与認定	救急救命士	合計	左記のうち 指導救急救命士
救急救命士数	30人	42人	16人	88人	9人
救急隊配置	24人	27人	3人	54人	7人

■ 応急手当の普及

令和6年1月から令和6年12月までの実績は、次の表のとおりです。

講習種別	実施回数	修了者数
救命入門コース(90分コース) ()は、平成24年からの累計	131 回 (1,293 回)	3,889 人 (33,971 人)
救命入門コース(45分コース) ()は、平成24年からの累計	7 回 (144 回)	237 人 (7,160 人)
普通救命講習Ⅰ(AED講習・試験なし) ()は、平成18年からの累計	37 回 (2,649 回)	297 人 (68,750 人)
普通救命講習Ⅱ(AED講習・試験あり) ()は、平成18年からの累計	- 回 (450 回)	- 人 (7,620 人)
普通救命講習Ⅲ(主に新生児～小児を対象) ()は、平成24年からの累計	2 回 (217 回)	40 人 (3,445 人)
一般救急講習 ()は、平成6年からの累計	9 回 (1,446 回)	105 人 (5,5199 人)
上級救命講習 ()は、平成6年からの累計	1 回 (65 回)	5 人 (849 人)
応急手当普及員講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (34 回)	- 人 (160 人)
普通救命講習(平成6年～平成19年で終了)	(2,041 回)	(49,171 人)

※平成12～28年度は、市立中学校における保健体育授業に参画し普通救命講習を実施。
(平成28年度までの中学生受講者数は48,308人)

平成29年度以降は中学生に対する救命入門コース(90分コース)に移行。

※平成18年から普通救命講習は、普通救命講習Ⅰに移行。

※平成24年5月から、救命入門コース(90分コース)を開始した。

※平成26年度から市立小学校における保健体育の授業に参画し、一般救急講習を実施。

平成28年7月11日からは、これを救命入門コース(45分コース)と位置づけています。

※実施回数・修了者数は、応急手当普及員による開催を含みます。



【早い認識と119番通報】

【呼吸をみる】

【絶え間ない胸骨圧迫】

【早い電気ショック】

■ [署所別]AED貸出し状況(令和6年中)

署所	北消防署 (志賀分署含む)	中消防署 (西分署含む)	南消防署 (南郷出張所含む)	東消防署	合計
件数	9	10	6	7	32